

大変なことは？

操縦席は、高さ35mの位置にあり、最初は怖く感じることも。コンテナは、ワイヤーで吊るされているだけなので、風や波の強い日は、吊っているコンテナも、船も揺れて操作が難しく、慎重な作業と集中力が求められます。

どんな仕事ですか？

ガントリークレーンは、船に積まれたコンテナを積み下ろしするための巨大な乗り物です。高い操縦席からコンテナの位置を確認し、コンテナの四隅の穴にスプレッダーと呼ばれる吊り具の爪を正確に引っ掛けて運び、繊細な作業です。



ガントリークレーン
オペレーター

かわの ひろふみ
川野 博文 さん
しものせき しゅうしん
下関市出身

この仕事のやりがいは？

世界を相手にするスケールの大きな仕事。世界中から届いた荷物を船から降ろし、日本の貨物を海外へ送り出します。狙いどおりにコンテナを運べたときの達成感は格別。乗り物好きにはたまらない仕事ですね。

仕事図鑑



このページは、小・中学生、高校生を対象に市内で働く人・職業を紹介しています。先輩たちのメッセージを参考に、未来の自分を探してみませんか。

「二発でスコンと決まった時は最高に気持ちいい」と笑顔を見せたのはつかの間、「気を許すと人の命に関わる事故につながるため、五感を研ぎ澄ませて作業しています」とすぐに表情を引き締める川野さんでした。

また、地上・船上の作業員の位置や動きを唯一見渡せるオペレーターは、無線で彼らと連携しながら、安全に、慎重に作業を進めます。

巨大なUFOキャッチャー？
ガントリークレーンは、船に積まれたコンテナをつかみ、積み下ろしするための乗り物です。スプレッダーと呼ばれる、コンテナをつかむ吊り具の真上に操縦席があり、操縦席ごとアームの上を移動して、スプレッダーを操作します。ガラス張りの床越しに船の上や地上の様子を見ながら、細かい操作をしているのが、オペレーターの川野さんです。



足元はガラス張り。真上からコンテナをつかむ。



←操縦席
←スプレッダー



まるで飛行機の
コックピット
みたい。